

銀行名	山陰合同銀行
タイトル	木質バイオマス発電事業に対する融資（地域資源を活かした産業振興）
取組み内容	<p>1. 案件概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス発電事業に対して、総額 35 億円のプロジェクトファイナンス形式によるシンジケートローンを組成（参加行 5 行）。 <p>2. 背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県は県土の約 8 割を森林が占めており、資源量は充実しているものの、有効活用されていない資源も多く、これを燃料として活かすことによってエネルギーの地産地消を促進することを企図した。 <p>3. 本件による効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス発電には、燃料となる木質チップを安定して生産・加工・供給できる体制を構築することが必須となることから、発電所や林業事業の雇用増加が期待できる。加えて林業事業の設備増産資金にも対応。 ・上記の通り、地域の林業事業の雇用創出や、荒廃した森林の再生にもつながる地域密着型の事業として資金面を中心にサポート。 <p>< 雇用創出実績 > 発電所 11 名、チップ加工 10 名、林業（原料生産）39 名</p> <p>< 事業内容 > 木質バイオマス発電による売電事業 発電規模 12,700 kW 年間予定発電量 86,000MWh（約 2 万 4 千世帯の年間消費エネルギーに相当）</p> <p>< 添付資料 > ごうぎん PRESS</p>



地域の資源を活かした産業振興 国内最大規模の木質バイオマス発電事業



(株)エネ・ビジョンの100%子会社
合同会社しまね森林発電が建設する
木質バイオマス発電所(島根県江津市)
発電規模12,700kW
年間予定発電量は86,000MWhで、
約2万4千世帯の年間消費エネルギーに相当



(株)エネ・ビジョン



(株)エネ・ビジョン
代表取締役 森田 孝 様

「木質バイオマス発電事業」への想い

当社はコーシエネレーション設備、省エネ設備の開発・設計・施工を行うエンジニアリング会社です。エネルギー設備の導入促進を図る当社は、木質バイオマス発電事業への参入を決めました。

燃料には、間伐材や林地残材など国内の未利用材を使用します。燃料となる木材の需要増加で、手入れが行き届かず放置され荒れた山を守り、林業やチップ加工など雇用を生みます。また、出力調整などを目的に、一部ヤシ殻を燃料にする予定ですが、ヤシ殻の輸入により、港の活性化にもつながると考えています。島根県、江津市の協力をいただきながら、事業を軌道に乗せ、地域の産業振興に貢献していきたいです。

……… 木質バイオマス発電所の建設地を島根県江津市に決めたポイントを教えてください! ………



(中) (株)エネ・ビジョン 奥 大介 様
(左) 江津支店長 布野 裕二
(右) 江津支店 次長 白木 広介

- 1 森林が多く、燃料の元となる木材が長期にわたって安定的に確保でき、運搬コストも抑えられる
- 2 河川が近いので、タービンを水蒸気で回すために必要な工業用水が確保できる
- 3 燃料の一部に輸入したヤシ殻を用いるのに、港が近くアクセスが良い
- 4 送電線が近いので、送電コストが抑えられる

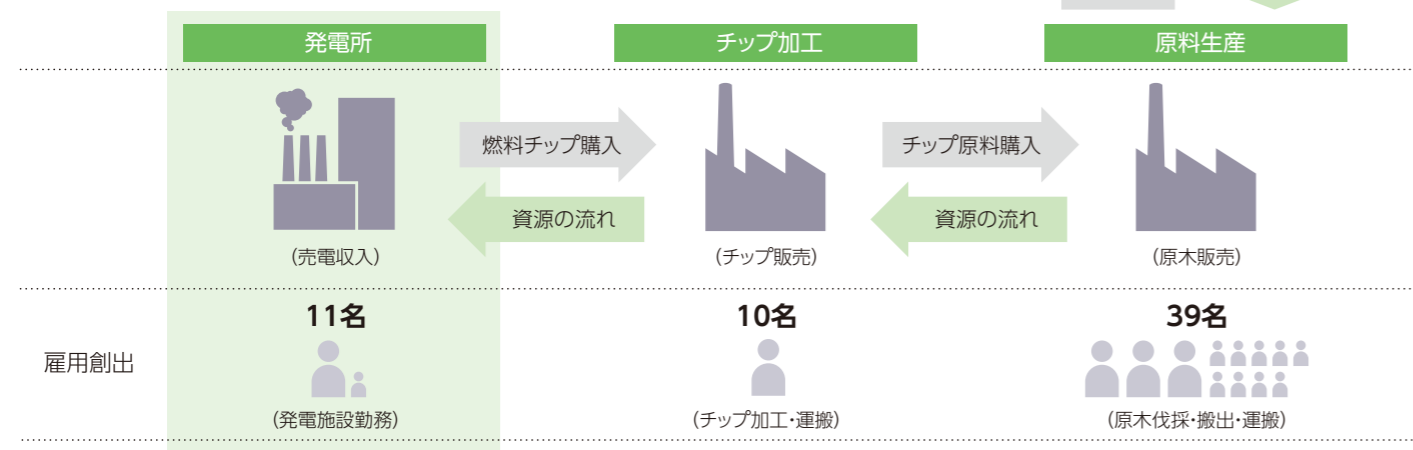
この4つが
大きな
ポイントです

しまね森林発電が未利用材を活用することによる経済効果

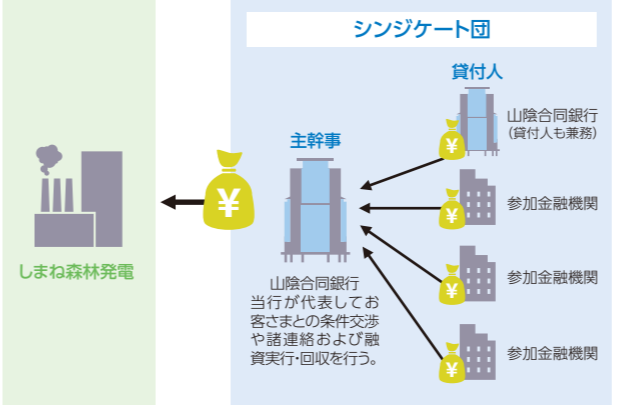
木質バイオマス発電には、燃料となる木質チップを安定して生産・加工・供給できる体制を構築することが必須となることから、発電所や林業事業の雇用増加が期待できます。



木質チップ



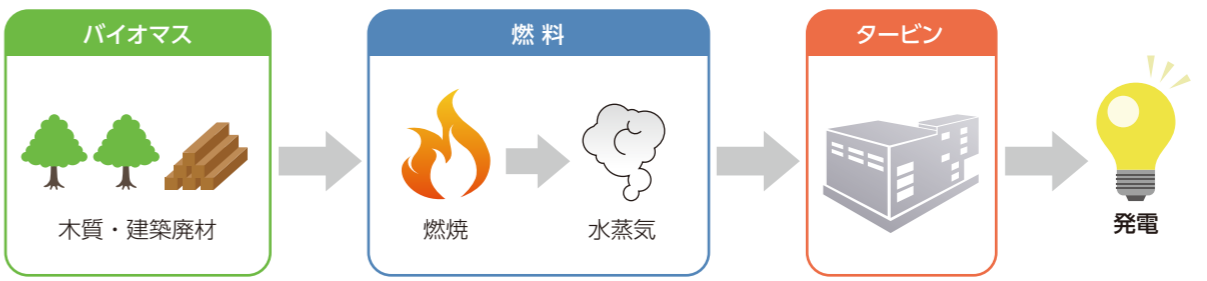
地域金融機関をとりまとめ、資金ニーズを支援(シンジケートローン)



雇用創出と森林再生につながる
バイオマス発電事業
県土の約8割を森林が占める島根県で、再生可能エネルギーの木質バイオマス発電事業が始まります。県内の山林に放置された間伐材や林地残材を燃料として活かすことにより、エネルギーの地産地消につながります。地域の林業事業の雇用創出や、荒廃した森林の再生にもつながる地域密着型の事業です。当行も地域金融機関として資金調達の面からサポートいたします。

木質バイオマス発電とは?

動植物から生まれた有機物資源を燃料にして水を熱し、出てきた水蒸気でタービンを回して発電する仕組みがバイオマス発電で、間伐材や林地残材等を燃料とするものを「木質バイオマス発電」と言います。



銀行名	山陰合同銀行																						
タイトル	ベトナム看護・介護人材視察の実施																						
取組み内容	<p>1. 趣旨</p> <p>(1) 視察企画の背景</p> <p>・高齢者住宅や介護事業所の増加により、当行営業エリアにおいて既に介護従事者の確保は年々困難な状況になっている。また、一般的に介護従事者数は「景気動向に左右されやすい」と言われており、景気上昇局面では介護の現場から他の「賃金の高い職種」に転職するため介護従事者数は減少する。今後、高齢者人口の増加や要介護認定者数の増加、少子化問題により、全国や当行営業エリアにおいて介護従事者の確保はさらに困難となることが予想される。</p> <p>(2) 介護職員確保のスキームと目的</p> <p>・現在、EPAにより外国人の看護師候補者・介護福祉士候補者を海外から確保するスキームはあるが、「日本語資格」等のハードルが高く介護事業者が求めている「即戦力になる人材」確保は難しい状況にある。そのため、平成27年度以降に介護職種が認められる予定の「外国人技能実習制度」を利用し、海外から若く優秀な人材を確保するスキームを構築中。今後、当行取引先が「介護人材確保」に困られた際に、ご相談頂ける環境整備を目指している。</p> <p>2. 海外視察詳細</p> <p>(1) 訪問施設</p> <table border="1" data-bbox="512 1153 1382 1276"> <thead> <tr> <th rowspan="2">日程</th> <th colspan="2">第1回視察</th> <th colspan="2">第2回視察</th> </tr> <tr> <th>H26.6.25</th> <th>H26.6.26</th> <th>H26.11.11</th> <th>H26.11.12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設</td> <td>送り出し機関(人材派遣企業)</td> <td>現地の医療サポート企業</td> <td>送り出し機関(人材派遣企業)</td> <td>現地総合病院</td> </tr> <tr> <td>製造業(合併企業)</td> <td>ベトナム政府</td> <td>有料老人ホーム(都市型)</td> <td>ベトナム政府</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム(都市型)</td> <td>有料老人ホーム(郊外型)</td> <td>現地の医療サポート企業</td> <td>日本人医師が運営する診療所</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*現地送り出し機関は、「日本語学校・研修施設」を視察。 有料老人ホームは、ハノイ市内(都市型)とハノイ市外(郊外型)を視察。</small></p> <p>(2) 参加企業数・人数</p> <p>第1回視察：参加企業8社9名 第2回視察：参加企業11社14名</p> <p>(3) 今後の方針</p> <p>・ご参加頂いた医療法人・介護事業者のお客さまは、既に介護職員確保でご苦労されている方々が多い。今後「外国人技能実習制度」において介護職種が対応可能になった場合、直ぐにでも海外から人材を確保したい旨を確認しており、政策動向を見つつ迅速に対応する方針。</p> <p><添付資料> ごうぎん PRESS</p>	日程	第1回視察		第2回視察		H26.6.25	H26.6.26	H26.11.11	H26.11.12	施設	送り出し機関(人材派遣企業)	現地の医療サポート企業	送り出し機関(人材派遣企業)	現地総合病院	製造業(合併企業)	ベトナム政府	有料老人ホーム(都市型)	ベトナム政府	有料老人ホーム(都市型)	有料老人ホーム(郊外型)	現地の医療サポート企業	日本人医師が運営する診療所
日程	第1回視察		第2回視察																				
	H26.6.25	H26.6.26	H26.11.11	H26.11.12																			
施設	送り出し機関(人材派遣企業)	現地の医療サポート企業	送り出し機関(人材派遣企業)	現地総合病院																			
	製造業(合併企業)	ベトナム政府	有料老人ホーム(都市型)	ベトナム政府																			
	有料老人ホーム(都市型)	有料老人ホーム(郊外型)	現地の医療サポート企業	日本人医師が運営する診療所																			



道路にはバイクがひしめき、活気に溢れています



褐色の流れと川岸の緑が印象的なメコン川



宮殿王朝時代の面影が今なお残されています



欧米からの旅行者に人気のムイネービーチ



海から突き出た島影が幻想的なハロン湾

安定した経済成長を続けるベトナム
 ベトナムは、北から南へ伸びたS字状の形をした国です。山岳地域、美しい海、肥沃なメコンデルタなど、自然が豊富で、8つもの世界遺産が残されています。インドシナ半島の東端に位置していることから、ASEAN諸国の海の玄関口として、インフラ整備が進められています。ベトナムには、液晶関係の部品メーカーが集積し、一大工業クラスターを形成しつつあります。日本をはじめとした多くの国から製造業などが進出し、急速に経済が発展しています。



当行は、アジアへ進出するお取引先を支援するため、平成25年にベトナムのベトコムバンクと提携しています。



ベトナム人材受け入れの可能性を探る



9団体13名が視察に参加
 平成26年6月25日から28日にかけてベトナム看護・介護人材視察を実施しました。当行の行員も含めて総勢13名が参加し、現地の人材送り出し機関や教育現場、介護施設などを視察しました。

お取引先とベトナム視察を実施

近い将来わが国は「介護従事者不足」の問題に直面します。介護従事者不足は当行のお取引先である介護事業者の方々にとっては非常に深刻な問題です。今回、その解決策の一つとして期待される「海外からの人材受け入れ（外国人技能実習制度）」を前提とした視察を企画しました。視察ではベトナム側の人材送り出し機関による日本語や日本文化の教育現場を見学し、一生懸命勉強に励む若者のエネルギーを感じました。有料老人ホームにおいてはベトナムの介護に対する取り組み姿勢が日本と近いことを確認できました。

視察の概要

- 日程: 6月25日～6月28日
- 視察先: ホアン・ロン人材派遣会社、ホアン・ロン人材教育センター、日系大手医療機器製造会社、ハノイの有料老人ホーム、ハノイ郊外の有料老人ホーム、ウェルビー・ベトナム社、ベトナム政府
- 参加者: 医療・介護に従事する当行のお取引先8団体9名、当行スタッフ4名

日本はベトナム経済における最大投資国です。多くの日本企業がベトナムに進出し、製造拠点を構えています。

日本からの投資額
6,325
億円
(2013年)

平均年齢
29
歳

平均年齢が若いことが特徴です（日本46歳、中国36歳、タイ36歳）。街には若い人たちのエネルギーが溢れています。

数字で見るベトナム

日本との国交樹立
41
年前

1973年に国交を正式に樹立して以来、日本とは親密な関係が続いています。近年は、毎年首脳会談が行われています。

人口
9,170
万人
(2013年)

ASEANでは3位、世界でも13位にランクされる人口大国です。今でも人口は増え続けており、毎年150万人が労働市場に参入しています。

識字率
93%

ベトナム人は勤勉な人が多く、新興国としては高い識字率を誇ります（インド63%、カンボジア78%、ラオス73%）。なお、アジア最初の宇宙飛行士はベトナム人でした。

ベトナム看護・介護人材視察のご報告

視察にご参加いただきベトナム人材に大きな可能性を抱かれる
光生病院 ことぶき会 佐能理事長と
当行の医療・介護担当者がレポートします。

2014.6.27



佐能理事長

ベトナムで医大合格に1点足りずに医師になれなくて、看護師になった人に会いました。多くの優秀な学生が、日本での資格取得に意欲を燃やしている現状が垣間見えました。



ベトナム政府

ベトナム労働省のグエンティンホア副大臣と面談することができました。

会談した労働省副大臣は「毎年150人以上の優秀な人材を日本に送り出したい」と明言され、日本との連携に強い期待感を持っている様子がうかがえました。

佐能理事長

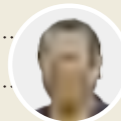
ウェルビー・ベトナム社

ベトナムに進出している日本企業の職員に対し、医療アattendや予防接種などの案内、現地の健康診断の手配などを行っている会社です。日本の看護師資格を持つベトナム人スタッフを6名揃えています。

参加者の声

視察でご一緒した方々は本当に元気の良い方ばかりで、個々の施設の成功体験など情報交換もでき、大いに参考になりました。会社説明会で久保田頭取が語られた「地域産業発展への貢献」への熱い想いに迫れる感じるとともに、ごうぎんの地域発展への支援にますます期待しています。

社会医療法人 光生病院
社会福祉法人 ことぶき会
理事長 佐能 量雄 様



今回の視察にご参加いただいたお客さまより問題解決の糸口を掴めたなど、多くの喜びの声をいただきました。当行では今後も継続してこのような機会を積極的に提供してまいります。

地域振興部 副調査役
医療・介護担当 中井 良司



当社はグループ会社の(株)ハートスイッチと日本語学校の倉敷外語学院の3者で協定を結び、介護・福祉分野における外国人労働者の教育支援事業を平成26年10月より開始しました。高齢者が増え、生産労働人口は減少、さらに拍車をかけるように介護業界は人材確保が難しいという状況にある中、昨年末より当社は外国人労働者の受け入れについて情報収集をはじめ、国が人材確保の一つとして外国人技能実習制度の適応職種拡大を検討していることを知りました。

そのような折に、ごうぎんよりベトナムの技能実習生送り出し機関、介護施設の視察をご案内いただきました。実際に現地で人材教育や介護施設の現場を見聞きたことが、この度の事業立ち上げに向けて大いに参考になりました。

ごうぎんのタイムリーな情報提供、また積極的な中小企業への支援にお応えできるように、当社は今後も地域の介護サービス、人材育成に貢献していきたいと思っております。

株式会社 創心會
代表取締役 二神 雅一 様



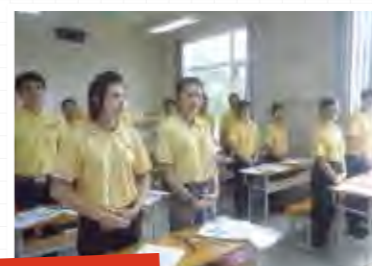
(左)児島支店 田中 俊幸



佐能理事長

ごうぎん岡山支店長をはじめ総勢13名で、逼迫する日本の医療・介護人材の新たな人材供給先として期待できるベトナムを訪問しました。私にとって、ベトナムは3度目の訪問となります。成熟した社会で高齢化の進む、長い歴史と文化を持つ、ものづくり大国・日本と、若い人が多く、勤勉でエネルギッシュな親日国ベトナム、まさに最もマッチした組み合わせだと確信しています。

2014.6.25



日本に憧れる若者の輝く瞳とエネルギーに満ちた授業風景を見て、「これならいける、なんとかなる。」と多くの視察者が感じました。

佐能理事長

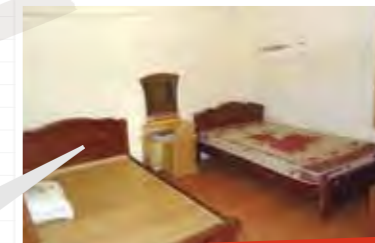
ホアン・ロン人材派遣会社

ベトナムの人材送り出し機関で、日本へは、毎年約250名を派遣しています。社内に日本語学校があり、日本への就職が決まると約半年間、日本語と日本の文化を勉強します。

2014.6.26

民間企業が高齢者をケアする仕組みが一般的ではないため、ベトナム全体で有料老人ホームは16カ所しかありません。

医療・介護担当 中井



ハノイ市内の有料老人ホーム

現在155名の高齢者が入居、職員45名すべてが看護師。2000年開業のベトナム初の有料老人ホームでICU(集中治療室)があります。入居待機者も徐々に増加しています。

日系大手医療機器製造会社

1997年にベトナムに現地法人を設立。ハノイ市内でレントゲンやCTなどの精密機器を製造、ベトナム国内に販売しています。日本人の工場長から「ベトナム人は勤勉」との説明がありました。

